

染和紙の一般的な施工方法

2007年8月17日改訂

一般的に壁紙を貼る際に使用する道具

| | |
|------|--|
| 和紙 | |
| 糊 | 糊と水を1：4の比率で希釈したものを使用 ※糊の種類については、下記を参照 |
| 糊盆 | 糊を入れるバット |
| 糊刷毛 | 糊を和紙につける刷毛 |
| 撫刷毛 | 和紙を表から撫でつける刷毛 |
| 霧吹き | 下貼り紙に軽く平均的に湿りを入れる |
| カッター | 和紙の大きさの調整用 |
| 定規 | |

施工方法／施工時の注意点：

1. 下地に凹凸や色むらがあるような場合は、下地処理をします。
2. 和紙の裏側全面に糊付けをします。
3. 刷毛で中央から外へ向かって空気を抜くように貼ります。
4. 和紙は左から貼り始め、下の段から上に貼り上げます。

下地処理： ネジ／釘頭処理、錆止め
シーラー処理（下地基材からのアクなどの予防）
パテ処理（凹凸をなくす）
表面の研磨、清掃

重ね貼り： 和紙は収縮するので、必ず重ね貼りをします。重ね幅を1cm程度取ります。
突き合わせや重ね切りは避けてください。

※ 糊には、基本的に壁紙用または襖用のでんぷん系の糊でゼロホルマリンタイプを使用。
・ヤヨイ化学工業(株) 壁紙用接着剤「ルーアマイルド」でんぷん系
・ヤヨイ化学工業(株) 襖障子用接着剤「完熟のり」でんぷん系
・矢沢化学工業(株) 壁紙用接着剤「ウォールボンド100」でんぷん系
・ヤヨイ化学工業(株) 非吸水性下地の捨て糊「プラゾールSS」エチレン酢酸ビニル樹脂

不燃材料認定に関する施工方法の注意点：

当社が染和紙で不燃材料認定を取得している“構造方法又は建築材料”の名称は、

和紙系紙壁張／基材(不燃材料(金属板を除く)) です。

この認定の規定を踏まえ、下記の要件を満たす必要があります。

1. 接着剤は、“でんぷん系の糊”と“プラゾールSS”を使用します。
2. 基材は、“建築基準法第2条第九号に適合するものとして、国土交通大臣が指定もしくは認定した不燃材料のうち、金属板及び化粧を施したものを除くもの。”を使用します。
具体的には、不燃材料認定の取得できている石膏ボードが適しています。

何かご不明な点がございましたら、
お気軽にお問い合わせください。

ART PAPERS FOR INTERIOR DECORATION
 **ながはる株式会社**
〒161-0031 東京都新宿区西落合1-30-22
TEL 03-5996-1751 FAX 03-5996-2340
URL <http://www.nagaharu.com>